



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

東

上場会社名 東京ボード工業株式会社

上場取引所

コード番号 7815

URL <http://www.t-b-i.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 尾股 拓彦 (TEL) 03-3522-4138

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	5,898	△0.5	57	—	△32	—	△392	—
2025年3月期第3四半期	5,925	13.8	△42	—	△90	—	311	—

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 △361百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 344百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	△151.34	—
2025年3月期第3四半期	120.29	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	11,905	2,035	9.8
2025年3月期	12,525	2,402	12.3

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 1,161百万円 2025年3月期 1,545百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,641	△14.1	△25	—	△130	—	△687	△187.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想につきましては、本日(2026年2月10日)公表いたしました「2026年2月期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ―社(社名)― 、除外 ―社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期3Q	3,660,369株	2025年3月期	3,660,369株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	1,068,490株	2025年3月期	1,068,490株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期3Q	2,591,879株	2025年3月期3Q	2,591,879株

(注)株主資本において自己株式として計上されている役員報酬BIP信託に残存する自社の株式については、「期中自己株式数」において2026年2月期第3四半期に81,968株、2025年3月期に81,968株含めており、「期中平均株式数」においては、2026年2月期第3四半期に81,968株、2025年3月期第3四半期に81,968株を控除しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
3. その他 .....	9
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、国内経済は緩やかに回復しております。しかしながら、米国の政策動向や国内物価上昇を背景とした、経済・物価動向に対する懸念から先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループが事業の主体を置く住宅市場におきましては、2025年4～12月の新築着工数は、持家が前年同期比12.8%の減少、貸家が前年同期比12.1%の減少、分譲住宅が前年同期比12.6%の減少、全体では前年同期比12.4%の減少と、経営環境は総じて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、佐倉工場の新たなチップ乾燥設備が前期末より稼働を開始し、安定したパーティクルボードの生産が行えており、この状況下で、当社グループの強みでもある木質廃棄物の回収から製品の製造・販売の木材のマテリアルリサイクルを活かすべく、部署間・グループ間の連携の強化、製造工程管理の見直し、人材育成等に注力し、売上の増加及び経費の削減に努め、赤字幅の縮小を目指してまいりましたが、2025年11月1日に発生した佐倉工場製造ラインにおける小火により、同工場の操業が停止し、製品の出荷数削減を余儀なくされ、売上面・収益面に大きな影響を及ぼしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,898,737千円（前年同期比0.5%減）、営業利益は57,557千円（前年同期は、42,423千円の損失）、経常損失は32,306千円（前年同期は、90,101千円の損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、392,252千円（前年同期は、311,787千円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間における資産の残高は11,905,101千円となり、前連結会計年度末に比べ620,520千円減少いたしました。受取手形及び売掛金が313,205千円増加したものの、現金及び預金が868,690千円減少し、商品及び製品が207,136千円減少したことが主たる要因であります。

##### （負債の部）

当第3四半期連結会計期間における負債の残高は9,869,644千円となり、前連結会計年度末に比べ253,912千円減少いたしました。未払金が172,521千円減少し、支払手形及び買掛金が133,861千円減少、未払法人税等が78,349千円減少したことが主たる要因であります。

##### （純資産の部）

当第3四半期連結会計期間における純資産の残高は2,035,456千円となり、前連結会計年度末に比べ366,607千円減少いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損失392,252千円の計上が主たる要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2025年11月1日に発生した当社佐倉工場における小火の被害状況及び今後の業績に与える影響を調査中であり、第2四半期連結会計期間末では業績予想の合理的な算定が困難な為、未定とさせていただいておりましたが、最近の業績動向や現時点で入手可能な情報及び予測等に基づき、連結業績予想を策定しました。

詳細につきましては、本日（2026年2月10日）公表いたしました「2026年2月期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,776,880	908,189
受取手形及び売掛金	1,744,577	2,057,782
商品及び製品	534,054	326,918
仕掛品	71,681	2,724
原材料及び貯蔵品	497,959	583,647
その他	141,069	184,792
貸倒引当金	△529	△489
流動資産合計	4,765,693	4,063,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,637,658	5,666,651
減価償却累計額	△3,124,356	△3,262,667
建物及び構築物（純額）	2,513,302	2,403,983
機械装置及び運搬具	19,103,530	19,227,204
減価償却累計額	△17,288,404	△17,385,457
機械装置及び運搬具（純額）	1,815,125	1,841,746
土地	2,763,453	2,762,579
建設仮勘定	117,608	268,451
その他	259,761	265,823
減価償却累計額	△238,379	△245,505
その他（純額）	21,382	20,318
有形固定資産合計	7,230,871	7,297,079
無形固定資産	9,709	8,139
投資その他の資産		
投資有価証券	112,001	126,200
長期貸付金	3,087	2,157
破産更生債権等	8,531	8,531
繰延税金資産	19,819	18,372
敷金及び保証金	289,500	293,408
その他	95,337	96,578
貸倒引当金	△8,931	△8,931
投資その他の資産合計	519,347	536,317
固定資産合計	7,759,928	7,841,536
資産合計	12,525,622	11,905,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	511,472	377,611
短期借入金	257,039	256,265
1年内返済予定の長期借入金	5,301,374	6,227,512
未払金	569,683	397,162
未払法人税等	82,073	3,724
賞与引当金	69,729	64,164
その他	297,886	442,883
流動負債合計	7,089,259	7,769,323
固定負債		
長期借入金	1,864,384	925,618
繰延税金負債	262,055	271,717
役員報酬BIP信託引当金	62,111	62,111
退職給付に係る負債	251,908	245,618
受入敷金保証金	232,613	232,613
資産除去債務	358,653	360,071
その他	2,571	2,571
固定負債合計	3,034,297	2,100,321
負債合計	10,123,557	9,869,644
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	221,000	221,000
資本剰余金	114,514	114,514
利益剰余金	2,568,763	2,176,511
自己株式	△1,404,244	△1,404,244
株主資本合計	1,500,033	1,107,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,050	54,189
その他の包括利益累計額合計	45,050	54,189
非支配株主持分	856,980	873,486
純資産合計	2,402,064	2,035,456
負債純資産合計	12,525,622	11,905,101

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,925,644	5,898,737
売上原価	4,582,971	4,337,638
売上総利益	1,342,672	1,561,098
販売費及び一般管理費	1,385,096	1,503,541
営業利益又は営業損失(△)	△42,423	57,557
営業外収益		
受取利息	157	1,502
受取配当金	4,983	5,291
受取家賃	3,793	3,923
助成金収入	793	7,101
受取保険金	22,244	6,496
その他	2,277	1,349
営業外収益合計	34,249	25,664
営業外費用		
支払利息	61,212	109,614
為替差損	—	3,746
支払手数料	500	—
支払補償費	20,000	—
その他	214	2,168
営業外費用合計	81,927	115,528
経常損失(△)	△90,101	△32,306
特別利益		
固定資産売却益	9,590	6,190
受取保険金	499,085	64,494
特別利益合計	508,675	70,685
特別損失		
固定資産除却損	15,000	75
災害による損失	—	372,091
特別損失合計	15,000	372,166
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	403,574	△333,787
法人税、住民税及び事業税	74,631	31,009
法人税等調整額	△7,664	6,049
法人税等合計	66,966	37,058
四半期純利益又は四半期純損失(△)	336,607	△370,846
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,820	21,405
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	311,787	△392,252

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	336,607	△370,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,255	9,138
その他の包括利益合計	8,255	9,138
四半期包括利益	344,862	△361,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320,042	△383,113
非支配株主に係る四半期包括利益	24,820	21,405



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

#### (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において8期連続して営業損失及び経常損失を計上しました。

当第3四半期連結累計期間においては、経常損失32,306千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失392,252千円を計上しております。また、当第3四半期連結会計期間末における有利子負債は7,409,396千円（短期借入金256,265千円、1年内返済予定の長期借入金6,227,512千円及び長期借入金925,618千円）と、手元流動性（現金及び預金908,189千円）に比して高水準な状況にあり、取引金融機関には継続して経営改善を前提とした支援を要請している状況にあります。

これらの状況により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、以下のとおり対応を進めてまいります。

- 1) 循環型社会の構築推進
- 2) 安全に関する取り組み
- 3) 従業員の意欲、能力の向上と働き方改革
- 4) 生産性の向上と収益構造の改善
- 5) 研究開発及び従事する人材の確保と育成

これらの当社独自の対応策を実施することに加えて、各取引先との緊密な連携関係を深め、必要に応じた協力体制を築くことによりキャッシュ・フローの改善と財務体質の強化を図り当該状況の解消、改善に努めます。また、一部借入金につきましては財務制限条項がございますが、すべての関係金融機関と財務状態及び資金計画等の協議を行った結果、期限の利益喪失の権利行使をしない旨の同意を得ており、引き続き当該金融機関と緊密な関係を維持し、継続的な支援をいただけるよう定期的に協議を行ってまいります。

今後も上記施策を推進し、収益力の向上と財務体質の強化に取り組めますが、これらの改善策ならびに対応策は実施中であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

#### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (追加情報)

## (佐倉工場で発生した小火の被害状況)

2025年11月1日に当社佐倉工場で小火が発生し生産を停止しております。生産停止期間中の固定費及び当該被災設備の再稼働に向けた復旧費用として、当第3四半期連結累計期間の特別損失の「災害による損失」に372,091千円計上しております。なお、当該被害による上記以外の復旧費用および受取保険金については、現在協議中であり、金額が確定していないことから反映しておりません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループの事業セグメントは、木材環境ソリューション事業及びその他の事業であります。その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	533,571 千円	629,020 千円

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（継続企業の前提に関する注記）」に記載のとおりです。